

「一」 日五十月三年五十四沿明

字都官商業會議所月報

稟告

一商工業の進歩發達を促すべき事實又は法律命令
其他商業の發達を沮害する事情わらは速に其狀
況并に之に對する御意見等御一報あらんことを
望む

一 地區内商工業組合の組織に關しては當所は出來
得る限り斡旋盡力すへし若し之れが組織の必要
を認められたる場合は申出られたり
一 地區内商工業組合にして總會又は役員會々場に
充つる爲め會議室の使用を望まるゝ向に對して
は無料にて貸與し且つ當所の事務に支障を來さ
ざる限り其事務をも補助すへし
一 地區内商工業者各位にして商工業に關する事項
に付諸官廳其他に對し本會議所の照會又は紹介

に付諸官廳其他に對し本會議所の照會又は紹介を得んことを望まる、場合は遠慮なく申出られたし
一本會議所は商工業者各位の時々來所高見を演述
調査研究の資料を供給せらるゝを切望す
一本會議所には官報、通商彙纂、商標公報、特許
公報、實用新案公報、山林公報、各地商業會議
所報告書其他商工業に關する各種統計及諸般の
有益ある圖書備付あり商工業者各位の隨時來所
閱覽あらんことを望む

標登録商
明保野 銘
宇都宮市鏡渕町
新 部 幸 吉
電話 三六四番

明保野は學理と實驗とに依て釀造したる酒質醇良
滋養豊富香味絶佳なる無比の一品にして夙に好酒
る諸賢の好評を博し販路日に月に擴張の盛況に在
をは深く愛顧諸君に謹謝する所なり將來益々酒質
の改良に努むへし希くは倍舊の御引立あらんこと

資本金貳百萬圓

卷之三

丁野風

卷之六

四

封
銀

銀

行

— 10 —

定價	壹部	金參錢
郵稅	壹部	金五厘
廣告料	廿二字	話
一行金十錢	(◎特	別告)
六ヶ月以上特	三割增	八三割增
約八一行金八錢		
印 刷 所	宇都宮	人秋山錦次郎
印 刷 所	宇都宮	川義興
印 刷 所	宇都宮	宇都宮商業會議所
印 刷 所	宇都宮	電話二五五
印 刷 所	宇都宮	一條町廿七番地
印 刷 所	宇都宮	六五

細民の生活状態如何

生産調査會の翻譯したる英國商務院調査に係る白耳義労働者生活費調査報告によれば、一週二十志以下の收入ある家庭に於ては食料品に費す所全收入の六割六分、家賃に費す所一割三分強、其他に費す所二割強にして、二十志以上二十五志以下の收入ある家庭に於ては食料品に六割四分八厘、

家賃に一割二分四厘、其他に約二割三分を費し而して此兩種家庭に於ける麵麪代は二志七片乃至二志十片なり。

今此調査に據り第一家庭の収入を十七志とし、第二家庭の収入を二十二志とせば其總収入に對し麺麪代は一割八分乃至一割四分に過ぎずして、食料費の大部は蔬菜、肉類、牛乳、バター、珈琲砂糖の如きものに費されつゝあるなり。

翻て我が生活状態を見るに自耳義に於ける一週十七志一ヶ月約三十七圓の収入ある家庭は我が國に於て月十五圓、彼國の二十二志月四十七圓強の收入ある家庭は我國に於て月二十圓の収入ある家庭と對比して大過なからんが、十五圓乃至二十圓の収入を有する家庭は妻子を合せて三四人暮しとして少くも一日米一升一ヶ月三斗を要すべく、今日一石二十五圓(中央市場價格)の半價を以てすれば三斗の代價は七圓五十錢なれば前者に於ては五割後者に於て三割七分五厘に當る、之を自耳義に於ける麵麪代の總収入に對する一割八分乃至一割四分なるに對照せば果して如何、且つ又家賃に於けるも我國に於ては平均總収入の二割位に見ざるべからざるを以て、總収入より米代と家賃とを差引けば前者に於て五圓五十錢、後者に於て九圓五十錢の殘餘あるに過ぎず、即ち之を以て鹽、味噌、醤油、蔬菜及薪炭、燈火、衣服等の料に供せざるべからざるなり。

第百六號 宇都宮

「三」 日五十月三年五十四沿明 報月所議會業商宮都宇

と言ふがさう區別し得るものでない若し區別し得たならば相共に協同すべきである。
大抵創業的人物と言へば豪膽で機敏であり守成的
人物と言へば着實で緻密であるが双方共に如何な
る事業にも肝要である創業の際には着實で緻密な
者は入用であり一度業が成つたとて豪膽で機敏な
者を用ゆる必要がある生馬の目を抜くやうな者は
守成時代に危険であるとして排斥すれば事業は伴
ひなくなる。
今は創業守成に區別はなくいつでも創業でありい
つでも守成であり年を趁つていよ／＼ます／＼發
展するやうにすべきである。
手を伸はさぬ方が安全であり手を伸はせば危険が
伴ふと言ふが人は何時如何にして死なぬと限らぬ
石橋を叩いて渡つたとて万全と言へぬ不幸にして
失敗する事もあらうがそれは不幸である。
人には幸不幸がある運は運として已れの信するど

創業を心

創業を心掛けよ

文學博士 三宅雄次郎君

斐があるとすべきである折角世の中に生れたから
は何か事業をなさではかなはぬ創業を心がくべき
である守成の場合にも創業を心がくべきである。

日本國民の收得ご積金

日本は收得額三拾六億万圓にして歳出額七億六千萬圓我
千圓なる以をて右列國の收得額に對する歳出額の
割合の少きは米國の六分五厘を最として其次きは
英吉利國の一割一分四厘獨逸國の一割三分四厘佛
國の一割五分二厘に又其多きは露國二割六分二厘
を最として之れに次くものは日本の二割四分三厘
其次きは伊太利の二割一分二厘にて日本は列強中
に於て其收得額の少きとは第一等にして其歳出額
の多きは露國に次きて第二等なるに鑑みても我國
の歳計が民度と適合せざるものあるを知るに足る

振替貯金改正

日本は收得額三拾六億万圓にして歳出額七億六千萬圓我
千圓なる以をて右列國の收得額に對する歳出額の
割合の少きは米國の六分五厘を最として其次きは
英吉利國の一割一分四厘獨逸國の一割三分四厘佛
國の一割五分二厘に又其多きは露國二割六分二厘
を最として之れに次くものは日本の二割四分三厘
其次きは伊太利の二割一分二厘にて日本は列強中
に於て其收得額の少きとは第一等にして其歳出額
の多きは露國に次きて第二等なるに鑑みても我國
の歳計が民度と適合せざるものあるを知るに足る

乃ち自耳義に於ては衣服費其他に用うべき相當の殘餘（七圓七十錢乃至十圓七十錢）を有しつゝ尙ほ麵麪代の外肉類、蔬菜、珈琲、砂糖等に毎月十八圓乃至二十四圓を消費するに、我が國に於ては米代家賃を除けば五圓五十錢乃至九圓五十錢に過ぎず、而して三四人の家庭に於ける一升の米は極少量を示し其不足は之を麥、若くは蔬菜等の低廉なる物を以て補充せざるべからず、衣服其他の費用

なる程戰後我國民の經濟發達も著しい併しそれは上中社會のことと下級社會でない今下級社會の統計としては依るべき材料がないけれども彼等が唯一の財源とする勞働所得即ち勞銀の變遷より察するに實に驚くべきものがある。今普通勞働、特別勞働の一班を代表するに足ると認めらるゝ勞銀を示せば左の如くである。

代るべき馬鈴薯の如き白耳義の百斤一圓九十錢あるに比し、我國は二圓二十三錢を降らす其砂糖の如き肉類の如き牛乳の如き我國に於ては彼れに於けるよりも遙に高く、到底多數細民などの容易に口にし得る所にあらず。然らば今日に於ける米價の暴騰は多數細民より唯一の生命の綱たる食物を奪へるか如きものにして其缺乏の甚だしきや因より論するまでもなく誠に寒心に堪へざる次第なり。

生活難と間接税

日清戦役前の明治二十六年度より四十四年に至る直税及間税の變化は大畧左の如くである

国税總額	廿六年度	直接税	間接税	四十四年度	総額ニ對	フル割合	比較兩年
七、一〇〇、〇〇〇	四、〇〇、〇〇〇	三、〇〇、〇〇〇	四、〇〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	二〇	一、九〇、〇〇〇
八、一〇〇、〇〇〇	四、一〇、〇〇〇	三、一〇、〇〇〇	四、一〇、〇〇〇	五、九〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	二〇	一、四〇、〇〇〇
九、一〇〇、〇〇〇	四、二〇、〇〇〇	三、二〇、〇〇〇	四、二〇、〇〇〇	六、四〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	二七	一、一〇、〇〇〇

四年間の販賣統計

明治元年から昨年まで前後四十四ヶ年間に營まれた外國貿易の棚卸をすると我國から輸出した内外產の總價額は六十一億千百万圓で而して外國から輸入せられた外內產の總價額は六十八億五千八百萬圓で賣り出した高よりは買込だ高の方が七億四千七百万圓だけ多かつたのだ更に四十四ヶ年間の平均高にして言へは輸出は毎年一億三千八百八十八万圓に過ぎずして輸入は毎年一億五千五百八十七万圓當り差引年々輸入超過は千六百九十八万圓を下らなかつた勘定だ隨つて我國の金額は維持以來昨年の暮までに七億四千七百万圓程減つた筈だ夫れから輸出超過の一一番多かつたのは二十五年で其超過額は千九百七十七万圓に過ぎなかつたのに輸入超過の一一番多かつたのは三十八年で其額實に一億六千七百万圓であつた又最近十一年間の平均を見ると輸出は毎年三億六千三百万圓に過ぎず輸入は毎年四億二百万圓である即ち差引輸入超過は毎年三千九百二十七万圓に成つて居る。

五年一月十六日午後
右議事要領左ノ如
松次郎 安平富次郎 河合中勝田
横倉正昌是
開會ヲ宣シ審議ノ
シヨリ四マテハ
議スルコトニ決定
四十五年度經費收入支出
年度積立金豫算ノ件
主要地へ電話連絡ニ關シ
會議事報告ノ件
至並事務至點燈ニ關スル
員功績表彰ノ件

三十二番(田中會計部長) 第一欵選舉費、第三欵第一項書記給、第四欵旅費増額并第八印刷費減額シタ
ル理由ヲ説明ス

三十四番(大橋東太君) 書記、傭ノ員數并之ニ給與ス
ヘキ俸給ノ月額ヲ承知シタシ
番外(荒川書記長) 書記二名嘱托一名傭一名給仕一名
ニシテ給料ノ月額ハ七拾六圓五拾錢ナリ
八番(峯岸福三郎君) 歳出第一讀會ニツキ異議ナシ賛
成ト呼フ者アリ

議長 歳出第一讀會ニ異議ナキヤ
議長 異議ナシト呼フ者多數
移ラン

八番(峯岸福三郎君) 書記給ノ増額五十圓ハ時節柄止
ムヲ得サルモノアルヘシト雖見合セテ之ヲ賞與
費ノ中へ組ミ入レ事務ノ繁簡ニヨリ適宜之ヲ給

明治四十五年一月廿二日午后四時開會全五時三十
分閉會ス出席議員及議事左ノ如シ

大野七兵衛 篠崎安平 渡邊長吉 橫倉正吉
坂田八郎 本勝次郎 村上常造 田中源吉
石川喜平 松田勇次郎 岸福三郎 田代徳藏
大橋東太 金平造 古口勇次郎 田中喜平
特別議員木多鑑吉 諸田富次郎

上野會頭議長席ニ就キ開會ヲ宣シ議員ノ出席缺席
數ヲ報告シ明治四十五年度經費歲出ノ第一讀會ヲ
開ク旨ヲ告グ

書記 議案朗讀

定期總會

近縣主要地へ電話連絡ニ關シ建議ノ件
議事至此事務至點燈ニ關スル件
元議員功績表彰ノ件

明治四十五年一月十六日午后四時開會全六時閉會
ス出席者并議事要領左ノ如シ

上野 松次郎	由中 勝次郎	吉田 源吉郎
篠崎 安平	河合 長藏	黒川 德藏
福田 富次郎	横倉 正吉	石田 常造
上野會頭開會ヲ宣シ審議ノ結果左ノ諸件總テ原案 通リニ決シ一ヨリ四マテハ來ル廿二日定期總會開 會之ニ附議スルコトニ決定ス		

定期總會

ル、御説アルモ抑モ給與費ハ會議所活動ノ根本ニシテ他ノ會議所ノ豫算ニ之ヲ見ルモ總經費ノ二分ノ一ヲ超ユルモノモ決シテ稀ナラス故ニ本會議所ノ豫算ノ如キモ異數ニアラスシテ寧口通例タルニ過キス云々

二番(大野七兵衛君) 八番ノ交際費増額ニハ反対ナリ
原案ヲ適當ト認ム

三番(吉田源吉郎君) 書記給ノ増額ヲ賞與費ニ移スモ結果ハ同一ニ歸スルノミナラス通例賞與ハ給料ニ適應セシムヘキモノナルニ之レノミ増額スルハ奇觀ナラスヤ云々

議長 休憩ヲ宣告ス(時ニ午後四時三十分)
議長 休憩前ニ續キ議事ヲ開ク旨ヲ告ク(時ニ午後四時四十分)
八番(峯岸福三郎君) 修正意見全部ヲ撤回ス
二番(大野七兵衛君) 異議ナシ

ルモノニシテ賞與費ヲ理由ナク多額ニスルハ鑑
害アリ且ツ此際或程度ノ給料増額ハ止ムヲ得サ
ルコトナルヲ以テ本員ハ原案ヲ維持セントスル
モノナリ

卅四番(大橋東太君)賞與費中ニハ問題トナレル店員
獎勵ヲ含ムカ

議長 店員獎勵ニ關スル費用ヲ含マス

卅四番(大橋東太君)本員ハ八番ニ贊成シタル書記給
ノ増額ヲ賞與費ニ組ミ入ル、分ヲ取消シ書記給
ノ増額ヲ取除クコトノ動議ヲ提出ス

三十番(福田富次郎君)本日ノ出席ハ原案者タル役員
多數ニシテ強イテ原案ヲ維持セントスレハ少數
者ヲ壓倒スル力如キ觀アリテ非常ニ困ツタ問題
トナル次第ナルカ敢テ不當ナル原案ニモアルマ
ジク思推セラル、ヲ以テ願ハクハ贊成セラレタ

八番(峰岸福三郎君)有權者ノ苦情ヲ唱フルハ主トシ
テ給與費ノ多キニアルヲ以テ之ヲ減額セントスル
ルニ外ナラス

少ナカラスシテ甚タ少額ニ失スルヲ以テ五十間
ヲ増額シテ八十圓トスヘク保険料ハ最近低落シ
居ルヲ以テ契約ノ際ハ特ニ注意セラレンコトヲ
望ム

卅四番(大橋東太君)八番ニ賛成

七番(相場直三郎君)本員モ交際費三十圓ハ少額ト認
ムルヲ以テ七十圓ヲ増額シ百圓ト致シタシ

十一番(渡邊長吉君)八番ニ賛成

三番(吉田源吉郎君)給料ト賞與トハ其性質ヲ異ニス

都字宮商業會議所月報

客が一旦買つて歸つた品が氣に入らずに取換へに往くと自分の店にケチを附けられた様な考へを以て之れを拒む商店か有る何々の品はないかと尋ねると御座いせませんと答へた切り代りに斯様々々の品がありますとも言はない商店が有る小供や下女を店へ遣ると輕蔑したり身裝が悪いと扱ひを別にする商店がある賣切れた場合に二三日の中には必ず店へ取寄せますと立派に言つて置きながら四五度往つても品は一向取寄せてない商店がある是等は皆人を逐出す商店である。

賣手にならずに買手の心になつて品を賣れ素見客でも他日本統の客に惹附くる事が出来るから満足を與へて歸さなければならぬ人間は兎角親切心にはだされ易いもの如何に巧妙なる遣り方でも親切心を離れては客は寄つかぬ（葉氏談）

支那内地の取引状態

く比較的安全の土地に於てすら一般の商取引（特殊のものを取除く）は平素の三割乃至四割に過ぎざる有様なれば他は推して知るべく純粹の商人中差向き糊口の途に窮する其結果革命軍に身を投じて軍器及糧食購入を司るか然らずんば他に職を轉じて生計の道を講ずるもの少なからざる始末なり然らば商取引の減退は目的物たるべき物資の缺乏に基因するやと云ふに決して然らず農産物と云はず加工品と云はず將だ鑛產物と云はず各種の物資は各地方に堆積せるも如何せん之れを中央市場に搬出するの資金に乏しく生産者は實を抱きて空しく悲境に吟呻せるの姿なり事情斯くの如くなれば啻に商人のみならず製造業者も亦資金の缺乏に困り原料の不足を歎つこと甚だしく見すく事業を

肥料輸入の増加

肥料	血粉	骨粉	鳥粉	肥料
一五、四〇三、三〇一	九六三、九五	五四一、四五五	九二、五三三	一五、七七五、二二九
一一、三六五、六四〇	六六、二〇九	一〇六、八〇三、五〇〇	三、五八三、〇〇〇	一、七七五、二二九
三九、五六三、二〇〇	一六八、七六一	五、八六二、二〇〇	九七二、六三八、九〇〇	五、八六二、二〇〇
五、八六二、二〇〇	二五、三二一、七三九	一二三、七三七、〇九六	一〇七、一九一	一〇七、一九一
一〇、五八七、六四九	六六、二〇九	八、三四五、四〇〇	一〇、六五〇	一〇、六五〇
六、三〇六、〇五一	二二、六五九、四三一	六三五、三〇〇	六五、一四九	六三五、三〇〇
一〇、六五〇	一〇、六五〇	九一七、〇〇〇	四九、五〇七	九一七、〇〇〇
六五、一四九	二二、六五九、四三一	四七、〇五五、〇六二	二、八一五、九四〇	四七、〇五五、〇六二
二二、六五九、四三一	二二、六五九、四三一	一、〇八三、四〇〇	一八、〇八四	一、〇八三、四〇〇
二二、六五九、四三一	二二、六五九、四三一	二八八、一四七	五一、四六七、五七四	二八八、一四七

帝國海軍の勢力

議長 異議ナケレハ之ヲ一括シテ議題トセン
是ニ於テ一括シテ議題トス
八番(峰岸福三郎君) 原案ニ異議ナシ讀會ヲ省略シテ
決定セラレンコトヲ望ム
議長 讀會ヲ省略シ原案ニ決スルニ異議ナキヤ
異議ナシト呼フ者アリ
議長 異議ナシト認ム

二、明治四十五年度積立金豫算ノ件

議長 積立豫算ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ告ク
卅二番(田中會計部長) 利子ハ積立金中三千圓ヲ定期
預金トスル見込ニテ之ヲ計上シタルモノナリ
本豫算ハ異議ナク二三讀會ヲ省略シ原案通リ決
ス

三、近縣主要地ヘ電話連絡ニ關スル建議ノ件

議長 近縣主要地ト本市間ニ電話ノ連絡ナキモノ
多數アリ甚々不便不利ヲ感スルニツキ之レカ連
絡ヲ遞信大臣ニ建議セントスル次第ナルカ此ノ
文案等ハ役員會ニ一任セラレタキ考ナリ
異議ナシ賛成ト呼フ者アリ

是ニ於テ役員會ニ於テ取調建議スルコトニ決ス

四、聯合會議事報告ノ件

卅二番(田中勝次郎君) 本件ハ客年朽木町ニ於テ開會
シタル關東商業會議所聯合會并東京ニ開會セル
全國商業會議所聯合會議事經過ノ報告ナルカ月
報第一〇二號及第一〇四號ニ詳細記載シタルヲ
以テ既ニ御承知ノコト、信スルヲ以テ時間モ切
致シタレハ異議ナケレハ右ニテ御承知ヲ願フ様

都官商業會議所月報

一九五九年五月三十日治明——「六」

宋都宮物價

(四十五年一月中平均)△印八下落

澤庵(四半入) 櫻野州商

卷之三

11-000

1100

本年一月	前年一月
一九、〇一	一五、四〇三
八、五八	五、一二三
〇八三	四、七六七
七、七一	四、四三
八、〇〇〇	六、四〇三
九、四七	五、八七五
八、八六七	四、三四五
五、七九	五、五五
〇〇〇、四六	六、〇四六
七、九七	五、二三一
〇〇〇、七九	九、四三一
六、〇〇〇	八、五七四
一、〇〇〇	五、九〇四
一、〇〇〇	一〇、三九
一、〇〇〇	九、九一
一、〇〇〇	八、五五
一、〇〇〇	一、一五
一、〇〇〇	三、一〇〇
一、〇〇〇	四、〇〇〇
一、〇〇〇	〇、〇〇〇
一、〇〇〇	一、八〇〇
一、〇〇〇	三、八〇〇
一、〇〇〇	五、〇〇〇
一、〇〇〇	五〇、〇〇〇
一、〇〇〇	六、五〇〇
一、〇〇〇	一、五〇〇
一、〇〇〇	一、六〇〇
一、〇〇〇	〇、〇〇〇
一、〇〇〇	一〇、〇〇〇

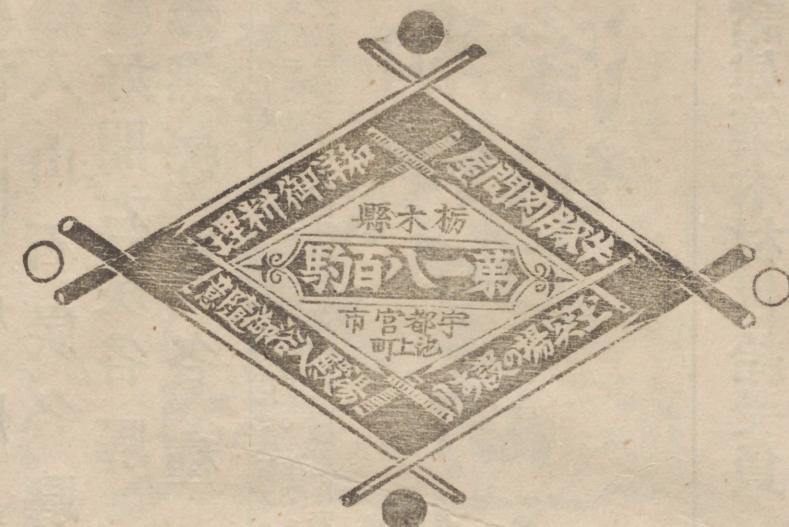
都官商業會議所月報

「七」 一九五四年三月十五日明治四十五年五月十五日

精鍊銅(精鍊銅)十貫目	日、英、米產
菜種油一石	市內產
石炭一噸	磐城產
美濃紙(四百目)一本草	東美濃產
半紙一束(一貫目付)	三桿改良楮
西ノ内(七百目付)一束	野州產
舶來印刷紙(一斤)	中上質物
硝子板(一箱)	並質物
新聞用紙(四十二斤)	舶來ザラ四 ザラ呪判千
中綿(一貫目)一本	市內產
蒲團綿(貫五百目)二本	全
綠綿(二貫目)百斤	支那產
紡績綿糸(二貫目)百斤	市內產
洋產綿糸(全)百斤	市內產
生糸(二貫目)百斤	市內產
宮染兩面唐草一反	市內產
薄色一反	市內產
豊島絣一反	市內產
白木綿一反	市內產
真岡晒一反	市內產
花色絹京花一反	市內產
甲斐絹並一反	市內產
自足袋爪三枚紋一反	市內產
鉗足袋紋十足	市內產
半足	市內產
足	市內產
全	市內產
生糸(二貫目)百斤	市內產
宮染兩面唐草一反	市內產
薄色一反	市內產
豊島絣一反	市內產
白木綿一反	市內產
真岡晒一反	市內產
花色絹京花一反	市內產
甲斐絹並一反	市內產
自足袋爪三枚紋一反	市內產
鉗足袋紋十足	市內產
半足	市內產
足	市內產
全	市內產

、一〇〇〇、
、一五〇〇、
、一三〇〇、
、一〇〇〇、
、九〇〇〇、
、八〇〇〇、
、七〇〇〇、
、六〇〇〇、
、五〇〇〇、
、四〇〇〇、
、三〇〇〇、
、二〇〇〇、
、一〇〇〇、

和洋御料理及天麩羅原 料
は元濱方と特約日々新味鮮料
のものを選み直輸入風味と衛生を重ん
と衛生を重んト御手軽迅速は最も第一の特色



番七百六 番二百二 話電

牛肉の原料は有名なる神戸米澤豚肉は海外より種の者を選み品質精撰價格低廉衛生經濟富國強兵に缺ける日常食品の親玉

●大坂硫曹株式會社製品特約販賣 ●各種取扱へ有之候ニ付御用命奉願上候

●見本へ御一報次第早速御送リ可申上候

●

内外各種肥料 天 手塚 豊吉

宇都宮市上河原町

電話二三一一番
電略(テツカ)又ハ(テ)

電話二〇七番

登録

本店

宇都宮市宿郷町三番地

參拾参
宇都宮縣會社
下野製紙株會社

東京府北半住中組五八五番地
電話下谷一八八三番

萬商標

支店

宇都宮市大工町五番地

株式寶積寺銀行宇都宮支店



別當定期預金
預金年歩
宇都宮市一九五
錢厘分

諸貸附割引為替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候

電話二五番 電略(ホウ)

明治四十五年三月發行字都宮商業會議所月報第百六號附錄

公 告

本會議所明治四十五年度經費及積立金豫算左ノ通り決定農商務大臣ノ認可ヲ得タリ依テ公告ス

明治四十五年三月

字都宮商業會議所

經 費 豫 算

科 目	歲 本 年 度 豫 算	入 前 年 度 豫 算	比	較 備 考	備	
					科 目	歲 本 年 度 豫 算
第一款 賦課金	二、三八二、〇〇〇	二、三八二、〇〇〇	一	前年度豫算ニ全シ	第一款 賦課金	二、三八二、〇〇〇
一、營業稅金割	一、九一二、五〇〇	一、九一二、五〇〇	一	前年度豫算ニ全シ	二、人頭割	四六九、五〇〇
第二款 雜收入	一五四、五二〇	一〇九、五二〇	增四五、〇〇〇	(過年度徵收金多キ見込ナ ルニ由ル)	第二款 雜收入	一五四、五二〇
合計	二、五三六、五二〇	二四九一、五二〇	增四五、〇〇〇	(過年度徵收金多キ見込ナ ルニ由ル)	合計	二、五三六、五二〇
科 目	歲 本 年 度 豫 算	入 前 年 度 豫 算	比	較 備 考	科 目	歲 本 年 度 豫 算
第一款 選舉費	三五、〇〇〇	八五、〇〇〇	增三五、〇〇〇	(明治四十六年三月議員半 數改選ニ付要ス)	第一款 選舉費	二、三八二、〇〇〇
第二款 會議費	八五、〇〇〇	一、一五六、〇〇〇	增五、〇〇〇	前年度豫算ニ全シ	第二款 會議費	一、九一二、五〇〇
第三款 紙與費	七七四、〇〇〇	七二四、〇〇〇	增五〇、〇〇〇	増俸ノ見込ヲ以テ増額ス	第三款 紙與費	一、九一二、五〇〇
第四款 旅費	二三三、〇〇〇	二三三、〇〇〇	一	上	第四款 旅費	一、一五六、〇〇〇
第五款 所費	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	一	上	第五款 所費	五〇、〇〇〇
第六款 調查費	五五、〇〇〇	五五、〇〇〇	減五、〇〇〇	前年度ノ經驗ニ由リ減ス	第六款 調查費	五〇、〇〇〇
第七款 公告費	四〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	增五、〇〇〇	前年度ノ經驗ニ由リ増額ス	第七款 公告費	一〇、〇〇〇
第八款 通信費	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	增五〇、〇〇〇	出張多キ見込ヲ以テ増額ス	第八款 通信費	一〇、〇〇〇
第九款 消耗品費	二二五、〇〇〇	二二五、〇〇〇	一	上	第九款 消耗品費	一〇、〇〇〇
第十款 備品費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	增二〇、〇〇〇	前年度豫算ニ全シ	第十款 備品費	一〇、〇〇〇
第十一款 家屋費	八五、〇〇〇	八〇、〇〇〇	减一〇、〇〇〇	前年度ノ經驗ニ由リ減額ス	第十一款 家屋費	九五、五二〇
第十二款 修繕費	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	减一〇、〇〇〇	前年度豫算ニ全シ	第十二款 修繕費	五〇、〇〇〇
第十三款 火災保險料	三五、五二〇	三五、五二〇	减一〇、〇〇〇	前年度豫算ニ全シ	第十三款 火災保險料	三五、五二〇
第十四款 借地料	一九五、五二〇	一九五、五二〇	减一〇、〇〇〇	前年度豫算ニ全シ	第十四款 借地料	一九五、五二〇
第十五款 庭園手入費	八〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	减五〇、〇〇〇	前年度豫算ニ全シ	第十五款 庭園手入費	三〇、〇〇〇
第十六款 聯合會費	二五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	减五〇、〇〇〇	(本年度ニ於テハ臨時ノ印 刷物ナキ見込ヲ以テ減額ス)	第十六款 聯合會費	二五〇、〇〇〇
第十七款 印刷費	一八〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	减五〇、〇〇〇	(本年度ニ於テハ臨時ノ印 刷物ナキ見込ヲ以テ減額ス)	第十七款 印刷費	一八〇、〇〇〇
第十八款 雜費	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	减五〇、〇〇〇	(本年度ニ於テハ臨時ノ印 刷物ナキ見込ヲ以テ減額ス)	第十八款 雜費	三〇、〇〇〇
第十九款 交際費	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	减五〇、〇〇〇	(本年度ニ於テハ臨時ノ印 刷物ナキ見込ヲ以テ減額ス)	第十九款 交際費	一六〇、〇〇〇
第二十款 諸雜費	二、五三六、五二〇	二、四九一、五二〇	增四五、〇〇〇	(本年度豫算ニ全シ)	第二十款 諸雜費	二、五三六、五二〇
合計					合計	

(以下裏面へ續ク)

